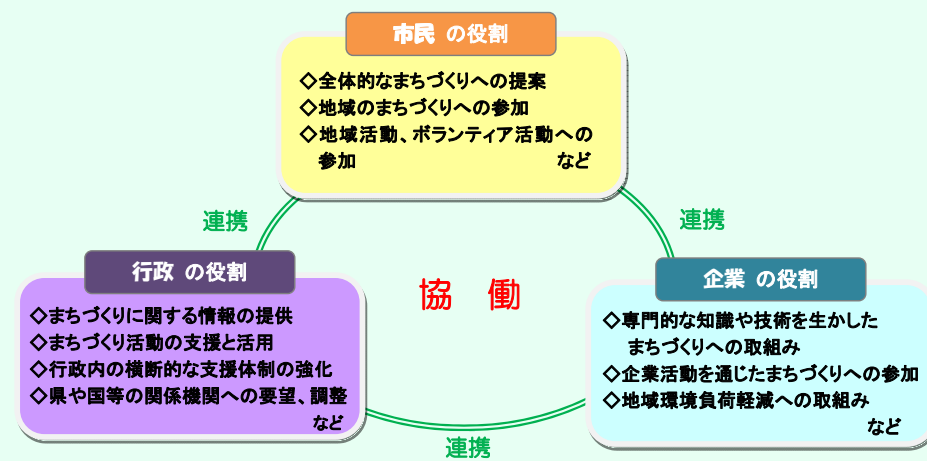


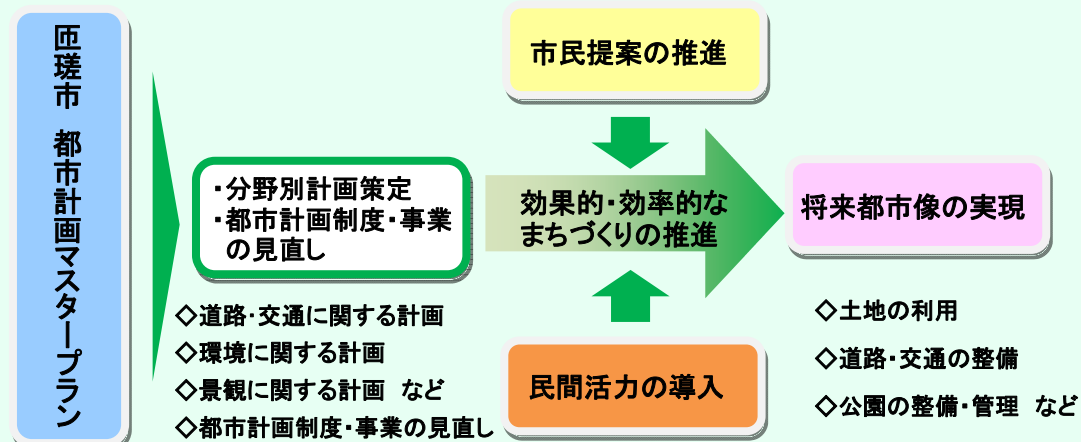
● 協働によるまちづくりの推進

これからのまちづくりは、社会経済情勢の変化や地域住民のニーズに柔軟に対応しながら、市民・企業・行政が適切な役割と責任を果たしながら、互いに協力し、力を合わせてまちづくりを進めていく、協働によるまちづくりが重要です。



● 効果的・効率的なまちづくりの推進

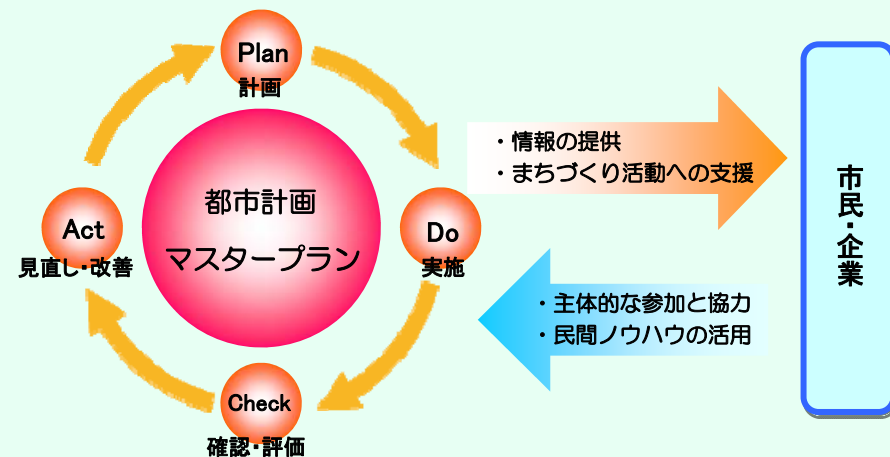
都市計画マスタープランは、都市計画（まちづくり）に関する目標や基本的な方針を示すものです。今後、これに沿って分野別の計画策定や事業の実施を進めるとともに、都市計画の決定や変更への取り組みを行います。



● 適切な進行管理と都市計画マスタープランの見直し

都市計画マスタープランの目標や方針に基づき、各種制度や事業を活用して、まちづくりの進捗状況を確認・評価し、必要に応じて見直し・改善を行い、計画の適切な進行管理を行っていく必要があります。

また、市民や企業の主体的な参加のもとに適切な時期に都市計画マスタープランの見直しを行い、内容の充実を図っていきます。



匝瑳市都市計画マスタープラン を策定しました

「都市計画マスタープラン」とは

「都市計画マスタープラン」は、市民の意見を反映しながら、市の都市計画（まちづくり）に関する基本的な方針を示すことを目的としています。

具体的には、合併後のまちづくりの現状や匝瑳市総合計画などを踏まえ、おおむね 10～20 年後の「目指すべき都市の将来像」を明確に定めるとともに、土地利用や都市施設など（道路、公園、公共施設等）の整備方針を示すことで、今後のまちづくりの道筋となるものです。

都市づくりの目標

将来都市像

海・みどり・ひとがはぐくむ 活力あるまち 匝瑳市

都市づくりの目標

- ◆目標1 誰もが安心して快適に暮らせる都市づくり
- ◆目標2 さまざまな交流と地域の活力があふれる元気な都市づくり
- ◆目標3 緑・水の環境を保全し地域資源を生かした都市づくり
- ◆目標4 協働によるまちづくり

将来都市構造

「拠点」

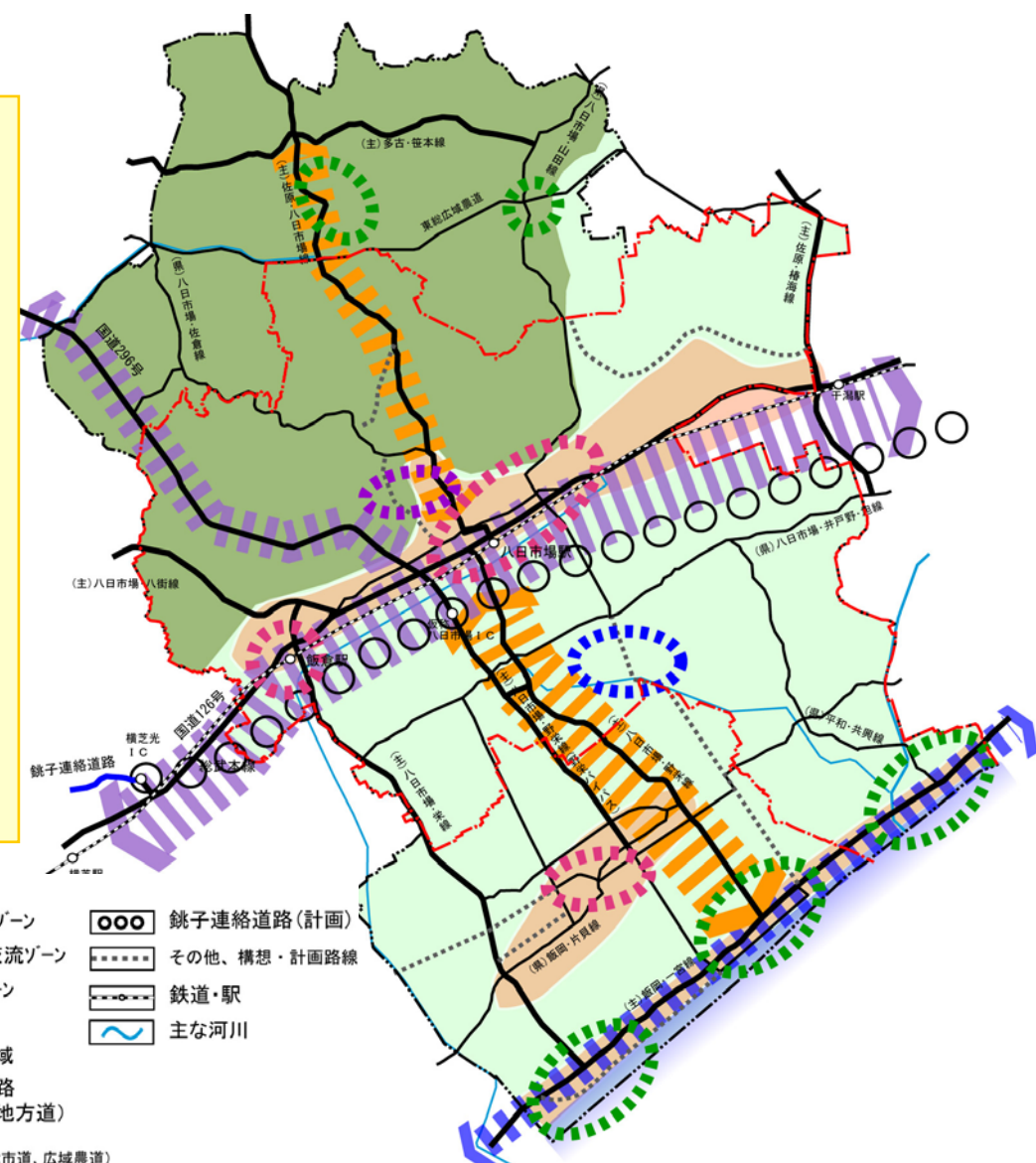
まちの活力や賑わいを生み出し、多くの人や物が集まり交流・連携を進める中心地区を都市づくりの「拠点」として位置づけます。

「軸」

周辺都市や市内の拠点間を結びつけるとともに、産業活動や住民生活を支え、本市の骨格を示す道路・鉄道を「軸」として位置づけます。

「ゾーン」

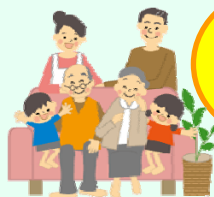
現在の市街地形成や将来の計画的な土地利用の規制・誘導を踏まえ、それぞれの地域の特性や「拠点」「軸」との配置に適応した土地利用形成を「ゾーン」として位置づけます。



全体構想

―市域全体の目指すべき将来都市像の実現に向けて、分野別の基本方針を示します―

分野別の基本方針



土地利用

交通

地域の特性に応じた適正な土地利用の誘導と自然環境との調和

- 地域特性に応じた拠点の育成・整備
- 社会経済情勢の変化に応じた土地利用への対応
- 田園、里山、海浜等の優良な自然環境の保全と活用



都市環境 自然環境

自然と共生し安心・安全で快適に暮らせる環境づくり

- 地域特性を生かした快適な都市環境・生活環境の創出
- 環境負荷が少なく安心・安全に暮らせるまちづくり
- 良好な自然環境・資源の保全と活用



地域の資源や個性を生かした美しいふるさとづくり

- 地域の特性を生かしたまち並み景観の形成
- 匝瑳市の原風景や良好な自然景観の維持・継承
- 協働による景観形成



地域別構想

―全体構想の基本方針を踏まえ、地域別の「目標」と「まちづくりの方針」を示します―

北部地域



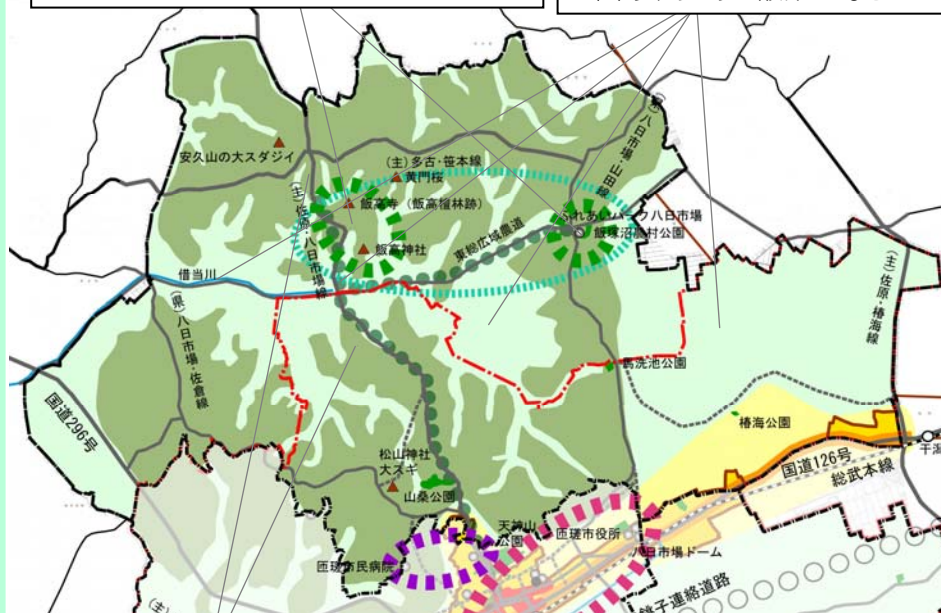
「自然・歴史・文化」資源と調和した、 交流のあるまち

○優良な歴史・文化資源などの 地域資源を生かした交流のあるまちづくり

- ・歴史・文化施設の保存とグリーン・ツーリズムによる交流の推進
- ・ふれあいパーク八日市場は、都市農村の観光交流拠点として地域活力の向上 など

○田園及び自然・景観資源の保全と 活用によるふれあいのあるまちづくり

- ・優良な田園の保全・整備と農業の発展や地域活力の向上
- ・谷津田や里山の豊かな自然資源や景観の保全・活用
- ・借当川沿いの親水空間の創出
- ・観光資源を快適で安全に巡る歩行者・自転車ネットワークの形成 など



○身近な生活環境の維持・改善によるやすらぎのあるまちづくり

- ・周辺の自然環境と調和し、安全で快適に暮らすことのできる居住環境の形成
- ・急傾斜地対策、避難施設の防災性の向上と災害に強いまちづくり
- ・良好な居住環境の整備や優良な自然環境の保全などのため、地域北側区域の都市計画区域への編入を検討 など

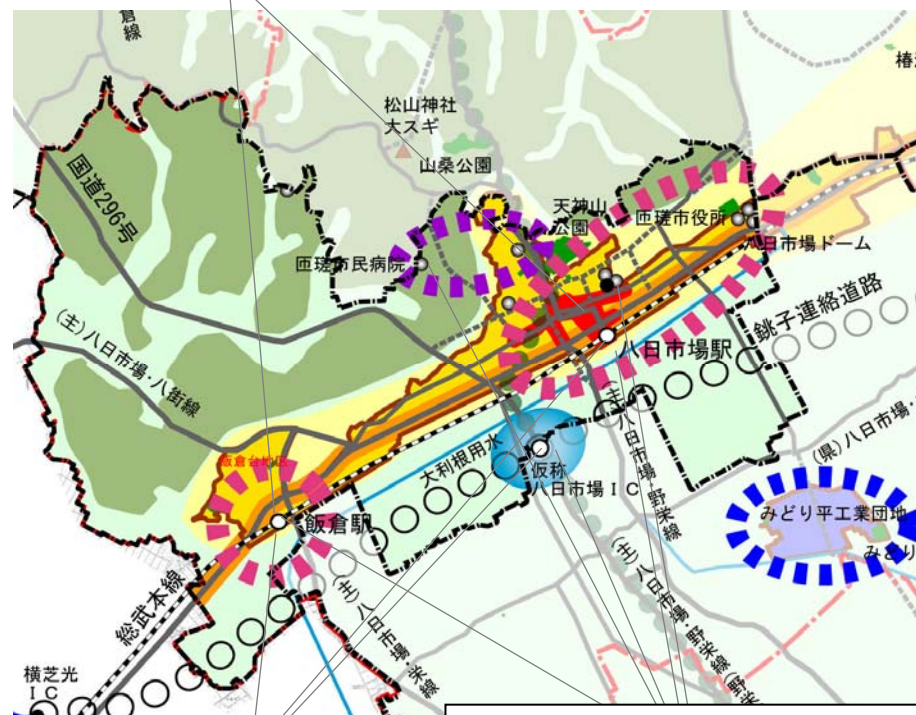
中部地域



多彩な機能を生かした交流により、 伝統が息づき、賑わいと活力のあるまち

○多様なニーズに対応した快適な居住環境の創出

- ・適正な都市基盤の改善・整備、土地の高度利用を促進し、多様な居住ニーズに対応した居住環境の形成
- ・歩道や交通安全施設の整備を図り、安全で快適な居住環境の形成
- ・既存の集落環境の保全・整備、周辺の自然環境と共生した居住環境づくり など



○交通体系を生かした活力あるまちづくり

- ・駅周辺のバリアフリー化、歩行者・自転車空間の充実、駐車・駐輪施設の整備により、公共交通機関の機能向上や人にやさしい交通環境づくり
- ・銚子連絡道路の延伸による(仮称)八日市場ICの整備を生かし、高速交通体系の強化による市外交流の活性化
- ・都市計画道路の着実な整備と長期間未整備な路線の見直し など

○都市機能の集積による賑わいと 交流があふれるまちづくり

- ・JR八日市場駅から市役所周辺地区は、都市機能の充実と賑わいと交流があふれる都市交流拠点の形成
- ・JR飯倉駅周辺地区は、日常生活サービスとしての都市機能の充実と拠点性の向上
- ・八日市場駅南口広場の周辺地域における民間活力を生かした商業施設や住宅開発等による人が集い賑わいのあるまちづくり
- ・(仮称)八日市場IC周辺は、新たな産業系土地利用としての活用
- ・医療・福祉機能の充実と循環バス等による交通ネットワークの充実 など

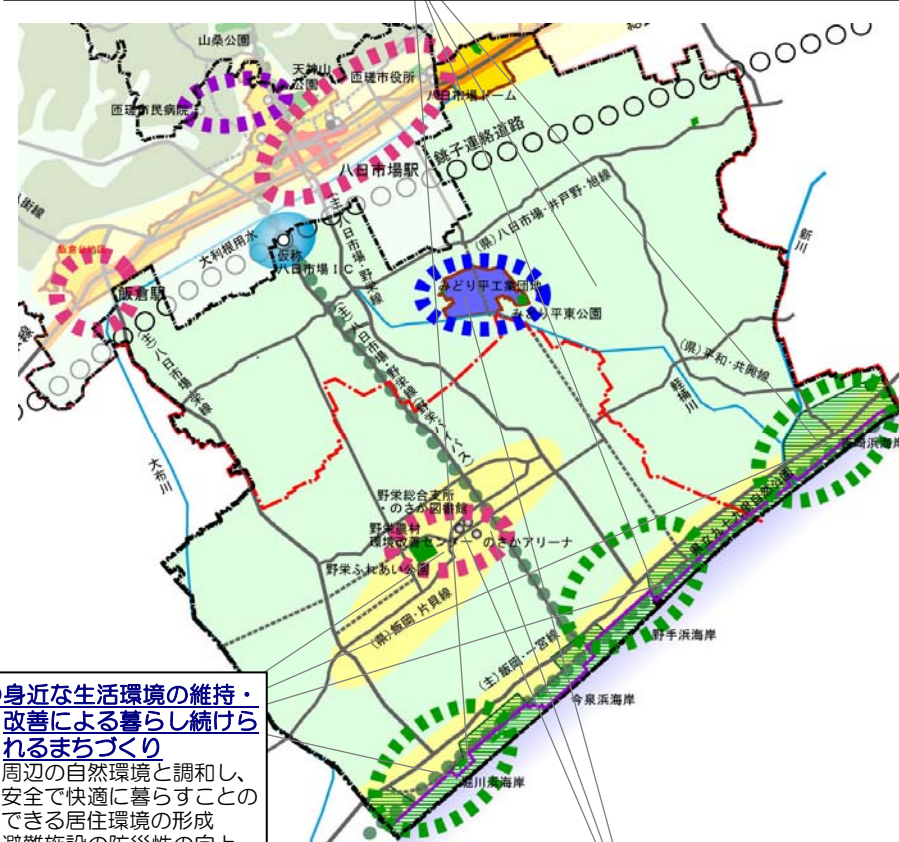
南部地域



海と植木を生かし、豊かな自然環境と共生した 交流とやすらぎのあるまち

○自然・景観資源の保全と活用による交流とやすらぎのあるまちづくり

- ・田園の保全・整備とともに植木産業の振興、地産地消や消費者と生産者の交流を促進し、農業の発展や地域活力の向上
- ・九十九里浜や海辺の緑豊かな自然資源は、景観の保全と活用に努め、観光・交流拠点としての充実とともに沿岸の住宅地や集落地と調和したやすらぎのある空間の創出
- ・地域特有の造形庭園や生垣について、地域住民と協働による優良な沿道景観の維持・創出
- ・サイクリングロードの整備を推進し、観光拠点の充実と周辺自治体との連携 など



○身近な生活環境の維持・ 改善による暮らし続けら れるまちづくり

- ・周辺の自然環境と調和し、安全で快適に暮らすことのできる居住環境の形成
- ・避難施設の防災性の向上、海岸浸食対策など災害に強いまちづくり
- ・良好な居住環境の整備や優良な自然環境の保全などのため、地域南側区域の都市計画区域への編入を検討 など

○優良な産業資源を生かした活力と交流のあるまちづくり

- ・みどり平工業団地は、産業拠点としての工業機能のさらなる企業誘致と操業環境の維持向上
- ・野栄総合支所周辺は、都市交流拠点として、地域交流の活性化と農業生産活動の発展や地域活力の向上
- ・地域特性に応じた沿道景観づくりの推進 など

